

会長副会長会 情報交換会議事録

令和元年6月1日：東京第一ホテル松山

Aグループ

- ・会長業務（研修等の連絡）は事務局が行う。
- ・運動会の準備について⇒中学校は生徒のみ、小学校はPTAも自由参加。
- ・懇親会⇒必要？
- ・中学校の部活動⇒必要

Bグループ

- ・プール掃除⇒平日は保護者参加少ない。日曜日であれば父親も参加できるのでは？
- ・救命救急講習
- ・夏祭り⇒財源確保
- ・すべて地域一体の事業（つつじ祭り・運動会・夏祭り）
- ・ウナギ祭り・恵良山・相撲大会
- ・奉仕作業
- ・学校コンクール⇒今年度は平日開催
- ・財源確保のため、体育大会でジュース販売・合唱コンクールで弁当販売

Cグループ

- ・ブロック事業の回数を減らすために
懇親会を1回減らしてはどうか？
補助金をどこまで払うか
顔合わせになるのでは？
以前は他校との交流があり（文化祭など）お互いの顔を知ることができたが、今は懇親会でしか顔を合わすことがない
会長・副会長がつながることができるルールがあればよいのでは？
- ・ブロック事業（バレーボール）
バレーボールチームの多い学校は参加者が集まりやすい
少ない学校は先生に依頼しなくてはいけない
強い学校とそうでない学校の間でルールが細かくなり、余計にもめる

Dグループ

- ・地区は人数が減少しているため、今後の対策を考えなくてはならない
- ・行事を小・中・地域で一体となって実施する？
- ・総会に出席人数⇒人数減少のため、一人一役で参加できるように、ということにしては？
- ・PTAのあり方を考える時期になってきているのではないか？
- ・人数が少ない単Pからは、三部長の選出も難しい
- ・人数の少ない学校の工夫について情報交換したい

Eグループ

- ・講演会や研修会への参加
会長副会長会は運動会の時期を外してほしい
車で行きやすい会場がよい
拘束時間が長いので、短時間で終われたらよい
懇親会について、女性は参加しにくい
- ・PTA活動の見直し
プール開放について⇒人材確保・暑さ対策が難しい
バザーについて⇒日程・準備・先生の負担 等
働き方改革とのバランスが合わない⇒先生方が希望する時間帯と、保護者が希望する時間が合わない
役員選出について

Fグループ

- ・PTA活動の見直し
運動会バザー当日にアイスボックスが壊れたため、数量・種類を減らして対応した。今後、アイスボックスを購入するかレンタルするか検討
- ・PTA活動への参加拒否をする保護者
一人一役のプリントを配布したが、「勝手に決めた」「PTAをやめる」との文書が事務局に届いたため、「できるところで協力してください」と伝えたが、返答なく一人一役欠席となっている
PTA活動の意味を再認識してもらう必要あり

Gグループ

- ・PTA活動は現状維持で
- ・懇親会はもっと楽しめる内容にしてほしい

Hグループ

- ・懇親会について
ブロック紹介を省略し、親睦を深める時間を多くする
- ・研修会等について
P T A役員として、年間に出席しないといけない研修会が多いのでは？
- ・P T A活動の見直し
学校のHPを活用し、広報委員を廃止した
P T A会費を払わない家庭への対応

Iグループ

- ・P T Aが何をやっているか分からない、強制されていると思われる
- ・クレームの件について、ディスカッションの時間が短すぎる
- ・P T A組織についての討議を会長副会長会でやってはどうか
- ・子どもと一緒に参加できるような組織にするべき
- ・助け合いの精神で協力しあえば、よい組織になるはず

Jグループ

- ・運動会について
アイスクーラー⇒セブンスター東垣生店で無償レンタル・配達してもらえる
販売方法⇒事前に注文を取る、当日販売も少量あり
個人テントの可否
P T Aやおやじの会を生徒との競技⇒綱引き
熱中症対策⇒ミスト
- ・周年事業のアイデア
タイムカプセル・航空写真 など

Kグループ

- ・公民館と各小学校の連携・情報伝達
ブロック事業（公民館）は公民館主催？小学校主催？
依頼のスピード
- ・運動会でのP T A種目の有無・バザー

Lグループ

- ・ボランティアスピリット⇒ロシア人墓地のボランティアが30年以上続き、ロシアとの国際交流になっているのでぜひ応援したい
- ・専門部部長が資料一枚作るのに、学校へ行って作らなければならない
- ・OneDriveを活用して文書を作成し、学校に来る回数を減らす
- ・各家庭で作った文書を、紙ベースで貼り付けて配布文書を作っている
- ・味酒公民館は館長もいて機能しているが、衣山公民館は集会所的な使い方をしている
- ・地域のつながりについて、元からの住民とマンションなどの住民との間で少し乖離を感じる
- ・7年前にPTA活動を大幅に減らしたところ、役員のなり手が多くなった
- ・PTA役員のなり手がいない
- ・軽減を考えているが、1年で行うと反発があるのでは？

Mグループ

- ・犯罪・被害に合わないために
 - 市教委とは別に、学校に防犯カメラを設置したい
 - MACメールを、両親・地域の方（まもるくんの家・店舗・民生委員など）にも受信してもらおう
 - ランドセルに下げている笛はいざという時に鳴らせるのか？
- ・市P連・単P行事の軽減について
- ・近隣校で災害時の備蓄食料を保管

Nグループ

地域の接し方・家庭での育て方の感覚の違い・子育て力の低下
地域住民との協力について

- ・学期末に1日だけ見守り活動
- ・おやじの会の50kmウォーク
- ・マイスタークラブ（幼・小・中・特・高）

○グループ

- ・ 執行部役員は小学校の役員経験者をスカウト
- ・ 役員の負担が多い⇒公民館や地域行事への参加依頼が多い
- ・ 地域（公民館）との関わりも大切
- ・ 役員全員が初めての人、女性のみ
- ・ 各部のやり方をそのまま引き継ぐ
- ・ 新しい事ややり方に帰るのが大変
- ・ 各部の名称を変える

執行部⇒スタッフ

学校教育部・家庭教育部・社会教育部⇒チーム

Pグループ

- ・ 役員決めについて

前年度3学期に検討を始める

学年が変わると知り合いが少なくなり、声掛けしづらく広がらない

各クラス理事2名、理事を中心に文化祭バザー応援することで人となりを知る

部長を引き受けると、次の部長候補を探さなければならないのが負担

各学年選定委員会が、3学期から活動しては？

Qグループ

- ・ 各種研修・講演会の人集めの方法
- ・ 各校PTA活動について
- ・ 地域の見守りについて

「愛の声かけ」というが、なかなか声かけできない

夜間パトロール⇒今年から一人一役も毎週水曜にパトロール予定

時代に合ったパトロールのやり方を

パトロールの時間（20時前後）は、子どもは外にいない

23時ころに塾から帰宅する子ども

安易に声をかけると不審者扱いされる

- ・ 公民活動が多く、何とか分散できないか
- ・ 昨年のプール開放（家庭教育部）は、異常気象（水温上昇等）で中止した
- ・ 今年は保護者の心配や負担を考え中止
- ・ 社会教育部⇒ラジオ体操の調整・旗当番の割り振りなど仕事が多く負担になっている

・ラジオ体操について

「毎日のラジオ体操は文化だ！」(公民館) ⇒子どもたちの自主的な活動としてなら
「PTAは何もしないのか？」(公民館)

Rグループ

- ・講演会の内容が同じ時があり、講演内容を考える必要あり
- ・一人一役を廃止したという話を聞いたが、PTA活動をどう運営しているのか知りたい
- ・PTA活動に非協力的な保護者への対応
- ・母子家庭の保護者・PTAの負担
- ・中学生になると、子どもが手紙・プリントを出さないのを確認しなくてはならない
- ・市P連役員候補者の選出について

Sグループ

- ・ほとんどの母親が働いている
- ・時間を作るのが大変
- ・役員のなり手がいない、くじ引きにも限度がある

Tグループ

- ・副会長の参加はどのような決めているか⇒出席できる人・最低2名・決まった人
- ・懇親会への参加
全額PTA負担・懇親会のみ参加の場合は批判されることも
人数を絞って参加するほうが負担は少ない
- ・PTA活動の見直し
各学校智総会出席者が少ない
PTA活動の内容をもっと具体的に報告する

Uグループ

- ・PTA会費について
強制ではない、納めないという保護者がいる
PTA活動は子どもたちのためだということを伝えていくことが大切
- ・PTA活動に協力的でない人について
普段どのような活動をしているのか、何のためにあるのかを定期的に発信し続け、気軽に参加できる環境を作っていきたい

Vグループ

- ・不満は全くない、年1回の活動しかなく大変ではない
- ・一切活動しないという希望があるが、他への影響が心配
- ・先入観で批判する人と、それを真に受ける問題⇒もう少し余裕を持ってできないか？
- ・一人一役の割り振り
 - ほぼ希望通りになりあまり不満はない
 - 執行部が大変、いろいろ工夫をしながら調整している
- ・PTAは任意！ 役員になっていない人もいる
- ・仕事をしながらなので、出られるときしか活動できないので申し訳ない⇒申し訳ないと思うことはない
- ・PTAを知らない人が多いのでアピールが必要
- ・本部役員のなり手がなく、引き続き残っている
- ・活動内容をもっと知ってもらう
- ・PTA活動の楽しさを知ってもらうには、会長が他の人たちを盛り上げて楽しく活動する

Wグループ

- ・講演会や研修会への参加
 - 部の割り振り・本部役員・一人一役
 - 一人一役・本部役員
 - 出られるものはすべて
- ・PTAは飲み会ばかりでは？
 - 何もかも自粛しては何もできない
- ・夏休みのプール開放
 - 救命救急講習を受講し、自分の子どもが泳ぐ時は必ず監視する
 - 責任の所在を明確に
 - 緊急時に泳げない
 - 泳げない子どもが増える
 - プール開放で親が子どもに教えてやれたらよい
 - 保護者監視で今年度も解放
 - 今年度は中止
 - 当番制だが、他人の子どもの責任はどこに？PTA？
 - 本部役員がいつもいるわけではない
 - 親子ともに熱中症が心配
 - 昨年までは、児童クラブから子どもを連れてくるだけで先生の監視なし

- ・川崎の事件

 - ガードマン・警察官でなければ危険

 - 保護者でも訓練した人でないと対応できない

 - 不審者見守りだけでは不安

 - 旗当番のみ、付き添いなし

Xグループ

- ・連絡体制について

 - (小学校)

 - 執行部に1週間のスケジュールをメール配信（グループLINEの活用）

 - 災害時にもグループLINEを活用すると便利

 - (中学校)

 - LINE活用、行事の数日前に連絡・確認

- ・スケジュールの確認

 - 地域の会議・行事が多いので、共有アプリで管理できれば便利

 - 30周年イベント計画中（ドローンなど）

 - エスタ（11/3 予定）

- ・理事会の報告⇒教頭先生がメモをもとに報告書作成、負担が大きい

- ・PTA事務の導入⇒経費など保護者の同意・賛同が必要